



## 第5回 JEF-KRA グローバルリスク・シンポジウム



～パンデミック2年目以降の国際危機と秩序維持への模索～

影響力が拡大した中国による国際新秩序を踏まえて  
北東アジア・インド太平洋諸国が対応していく中、  
Brexit後のグローバル・ブリテン戦略はホワイトナイトになり得るか？

【日時】 2021年10月13日(水) 17:00～19:00(日本時間)  
10月14日(木) 17:00～19:00(日本時間)

【形式】 オンライン形式によるデジタルシンポジウム

本件は在英シンクタンク Komatsu Research & Advisory (KRA) との共催により、その5回目の開催となった。パンデミックの状況に鑑み、前回に引き続きオンラインでの開催(同時通訳付)とした。

本シンポジウムは、世界各国の異なる視点から、コロナ禍での国際情勢についてスピーカーによる講演とディスカッションが行われた。米中二極化とも言われる世界情勢の中、従来の欧米先進国型国際秩序に対し、国際新秩序を掲げる中国への対応策を構築しなければならない各地域の国々にとり、「EUの中の小英国」から方向転換した英国の「グローバル・ブリテン」構築戦略は果たして「ホワイトナイト」になりうるのか。日本等が「自由で開かれたインド太平洋」(FOIP)構想を掲げ、同地域で自由な貿易・投資が可能な「空間」を維持・発展させる上で、激変する国際的潮流を各国の視点から分析し、今後への学びに役立てられるかどうかを考える一助になることを目的とした。

シンポジウム1日目は、豊田正和JEF会長による開会挨拶に続き、猪口邦子参議院議員から来賓挨拶があり、ディスカッションは二日間を通して小松啓一郎KRA代表がモデレーターを務めた。

続いて小松氏からシンポジウムの趣旨説明と共に、Brexit後の英国の新国際政策「グローバル・ブリテン」と来たるCOP26を巡る気候変動問題等についての見解が示された。次に、パンデミック問題と共に、英連邦加盟国の視点から英国の国際戦略についてピーター・シノン・セーシェル共和国元産業・投資・天然資源(含、農業・漁業)大臣によるプレゼンとなった。その後、スピーカー全員によるパネルディスカッション、スピーカー、参加者との質疑応答が行われた。

2日目は、マイク・キング元英国警察高官が、英国の視点から中国・台湾問題を始めとす

るアジア情勢を含め、Brexit後の英国の新政策について取り上げた。続いて、董龍昇（トン・ヨンスン）青瓦台外交安保首席室諮問委員により北朝鮮を含む朝鮮半島情勢や中国をはじめ、グローバルな課題についての発表。その後、スピーカー全員によるパネルディスカッション、スピーカー、参加者からの質疑応答が行われた。

#### 【プログラム】

10月13日（水） 1日目

- 17:00 主催者側より議事についての説明
- 17:05 開会挨拶：**豊田正和** 国際経済交流財団 会長
- 17:10 基調講演：**猪口邦子** 参議院議員・初代少子化大臣・元食育大臣・上智大学名誉教授・元ジュネーブ軍縮大使・政治学博士（Ph.D.）
- 17:20 《講演1》Brexit後の英国の新国際政策「グローバル・ブリテン」と来たるCOP26を巡る気候変動問題等について  
**小松啓一郎** Komatsu Research & Advisory（KRA）代表
- 17:50 《講演2》アフリカ・インド洋における英連邦加盟国の視点から、パンデミックと英国の国際戦略について  
**ピーター・シノン** セーシェル共和国 元産業・投資・天然資源（含、農業・漁業）大臣
- 18:15 パネルディスカッション 質疑応答
- 18:55 閉会挨拶：**豊田正和** JEF会長

10月14日（木） 2日目

- 17:00 主催者側より議事についての説明
- 17:05 開会コメント：**小松啓一郎** KRA代表
- 17:10 《講演3》Brexit後の英国から見た東アジア情勢等を含めた新国際情勢と、英国の外交戦略について  
**マイク・キング** 元英国警察高官
- 17:35 《講演4》朝鮮半島、東アジアにおけるパンデミック2年目以降の国際情勢について  
**董龍昇**（トン・ヨンスン）元韓国大統領政策諮問委員、青瓦台外交安保首席室諮問委員、Good Farmers 事務総長
- 18:00 パネルディスカッション 質疑応答

18:40 全体のまとめ：小松啓一郎 KRA代表

18:55 閉会挨拶：豊田正和 JEF会長